

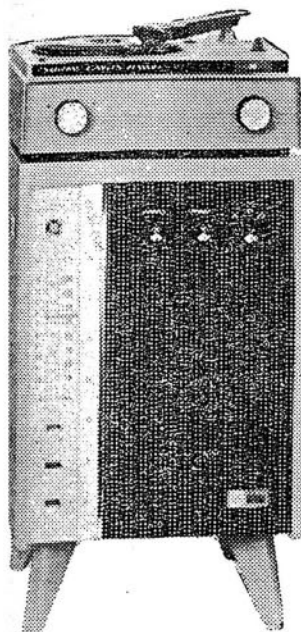
国内新製品紹介

ナショナルの新製品4種

●アンサンブル用2バンド・ラジオ “DH-900”

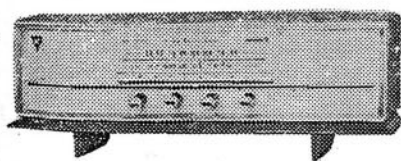
手軽にステレオ装置をそろえるために、というので出したもので、写真の上にごらんのような4スピード・ステレオ・プレーヤー DL-853型、それに本機 DH-900をもう一台追加すれば良いわけである。18cmの大型スピーカーが、大きなキャビネット（アンプ部と同層）に組み込まれている。受信周波数は535~1605kcと3.7~12Mc, 使用真空管は12BE6, 12

BE6, 12AV6, 30A5, 12Z6である。感度は MW バンド 80 μ V/50mW, SWバンド 100 μ V/50mW, 電気的出力は無歪 1.3W, 最大1.7W, 消費電力は22VAである。外形寸法は幅308×高さ495×奥行250(mm)で、重量は4.9kgとなっている。正価は 11,000。



●2スピーカーのルーム・ラジオ “DX-365”

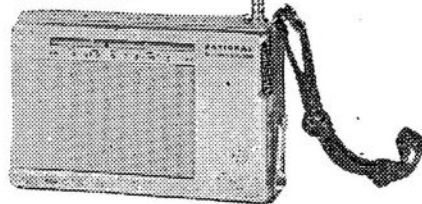
内容は12BE6-12BA6-12AV6-30A5-35W4の5球スーパー、535~1605kc, 3.75~12Mcの2バンドで、感度は MW, SWともに80 μ V/50mA, 電気的出力は無歪1.2W, 最大1.5Wである。消費電力は23VA, スピーカーは10cmパーマメント型が2個左右についている。イヤホンが2個使うことができる。外形寸法は幅494mm×高さ174mm×奥行158mm, 重量は3kg。正価は 8,000。



●小型2バンド TR ラジオ “T-20”

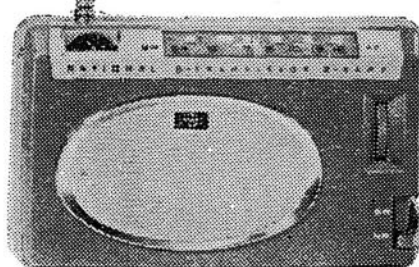
使用トランジスターは MC-101, MC-101, OA

-70, OA-71, OC-72×2の6石で、他に発振補償用に OA70, 自動動作補償に MA23 がついている。受信周波数は540~1600kc, 3.9~12Mcで、感度は MW が 200 μ V/m/5mW, SW が 300 μ V/m/5mW。出力は無歪 150mW, 最大200mW である。使用電池は特単三×4の6V, スピーカーは6cm型である。アンテナはフェライト・アンテナと8段引伸ばし式(最大90cm)のロッド・アンテナがついている。電源もナショナルの特単一4個の入った外付きホーム電池ボックス “BX-1” (350) を使えば半年以上は保つ。マグネチック・イヤホン・ソケット2個もついている。外形寸法は幅13.5×高さ80×奥行37(mm)で、重量は450gr である。正価は 9,500。



●DXのきける8石2バンド・ラジオ “T-26”

RF部分とIF部分に4個のドリフト型トランジスターを使った本格的な2バンド・ポータブルである。内容は MC-102M (周波), MC-102D (周波), MC-101BB (IF 1段), MC-101AA (IF 2段), OC-71AN (AF 1段), OC-71B (AF 2段), OC-72×2 (出力), OA-70 (検波, AGC), MA-23 (AOC) で、MW 540~1600kc, SW 3.9~10Mc の2バンドである。感度は MW 250 μ V/m/5mW, SW 300 μ V/m/5mW。出力は無歪 (15%) 150mW, 最大200mW である。スピーカーは6.5cm を使っている。マグネチック・イヤホンが2個ついている。電池は積層乾電池 4AA (6



V)である。外形寸法は幅159×高さ92×奥行45(mm)で、重量は電池ともで680gr。正価は 12,300。である。

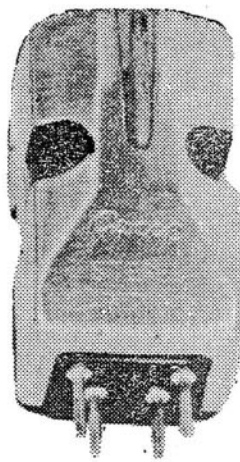
(大阪府北河内郡門真町)

(松下電器産業・ラジオ事業部)

グレースの新製品2種

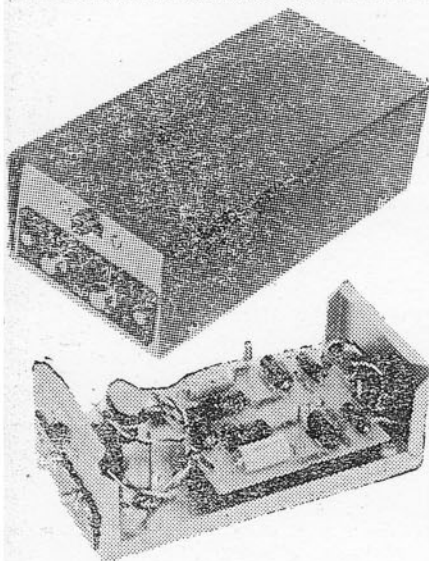
●ステレオ・カートリッジ “F-45”

可動部分に全く鉄を含まない純粋なムービング・コイル型のステレオ・カートリッジで、ダイヤモンド針を使ったもので、同社では “エラック, シュア, フェアチャイルドなどのムービング・マグネット型の性能をしのぎ、最高レベルのオルトフォンノイマンにせまるもの” と自慢している。規格を列記すると、周波数範囲 20~20000 c/s (±2.5 dB), 出力電圧約 0.4mV (50mm sec 1000c/s), インピーダンス約 30 Ω (ほとんど直流抵抗, 20000 c/s までほぼ一定), 負荷インピーダンス 30 Ω 以上, チャンネル・バランスは感度が ±0.5dB (1000c/s), 周波数特性 ±1dB, クロス・トーク -22dB 以上 (1000c/s), -18dB (10000c/s), 針先 0.7 ミルのダイヤモンド, 針圧は 3~5gr, 針先機械インピーダンス 3.9×10⁻⁶cm/dyne, 寸法は幅 17×長さ 35×厚さ 17(mm) で、自重 1.5kg 正価は 6,900。(ダイヤモンド針交換費は 3300)



●トランジスター・ヘッド・アンプ “THA-1”

ムービング・コイル型ステレオ・カートリッジ F-45 の出力を一般のプリアンプ入力に適合するように昇圧する、フラットな周波数特性をもった低雑音、高利得のヘッド・アンプである。ステレオ用として2系統のアンプ(2N220×2)を組み込んだものである。入力インピーダンス約 1700 Ω , 出力インピーダンス 8600 Ω (1000c/s) で、周波数特性 20~20000c/s ±1dB, 電圧利得は約 40dB, 出力電圧最大 500mV (F-45 を接続した場合は出力約 40mV), S/N 比 -60dB 以上, クロス・トーク -62dB 以上, 利得差 ±0.5 dB, 電池は 006P (9V), 消費電流約 0.9 mA。回路はプリント化されている。外形寸法は 190×85×60mm。重量は電池ともで約 400gr。正価は 3,300。



(東京都品川区大井元芝町 870)

品川無線 K. K.

第一電気の高圧インパルス・ジェネレーター

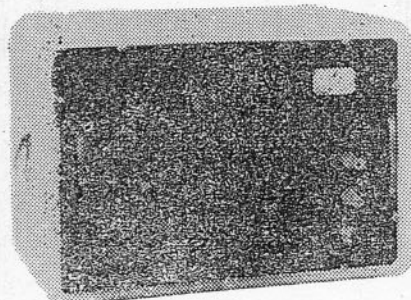
本機は内部が二つに分かれ、各々が独立した機能を有する、ハイボルテージ・インパルス・ジェネレーターを有し、スイッチおよび CR 微調整を行うことにより、これに接続されたジェネレーターを 1sec~10 μ sec までの任意の時間差をもって、同期始動させることができる。また 1sec~10 μ sec. の範囲内で連続パルスを発生させることも可能である。例えばトリガスイッチを外部同期に切換え、外部よりの一つのトリガーに対して時間差形成部によって定められたところの時間差をもって、二つのインパルスが出力側に発生する。

次にトリガー・スイッチをワンショット・トリガーに切換え、トリガーボタンを 1 回押すことにより上記と同じ結果が得られる。次に内部トリガーに切換えると時間差形成部において、正確に定められた時間差をもって常に一定な連続パルスを得ることができる。

性能は

- トリガー入力電圧 +2V
- 最大出力電圧 +5kV \times 2
- 出力時間間隔 (5 段切換微調付)
- ① 10 μ sec~100 μ sec
- ② 100 μ sec~1msec
- ③ 1msec~10msec
- ④ 10msec~100msec
- ⑤ 100msec~1sec.

出力パルス波形 1 \times 100 μ sec~0.001 \times 0.1 μ sec.
価格は ¥ 380,000.



(東京都千代田区有楽町 1 の 10 三信ビル内)
第一電気 K. K.

サンヨーの新製品 3 種

④ 4 スピード・ステレオ・プレーヤー “STG-500PL”

写真の上部がこのプレーヤーで、4 スピードリムドライブのフォノモーター “H4-3” と、同じく同社製のピックアップ “CP-6R” のついたもので、カートリッジはターンオーバー方式のクリスタル型である。正価は ¥ 17,500.

③ 2 バンド・チューナー “STG-500R”

上記プレーヤーの左側に入っているのがこれで、6BE6, 6BA6, 1N60, 6ME5 の 535~1605kc, 3.8~12Mc の 2 バンドである。出力は 1V, 消費電力は 5VA, 電源は下記のアンプ付 SP システムよりとるようになっている。サイズは幅 132 \times 奥行 328 \times 高さ 108mm. 重量 1.2kg. 正価は ¥ 6000.



② アンプ付スピーカー・バッフル “STG-500B”

写真下のキャビネットの中にアンプとスピーカーが組込まれている。アンプ部は 6AV6 \times 2 (低周波増幅), 6AV6 (位相反転), 6AR5 \times 2 (出力増幅), 6X4 (整流) となっており、入力 0.5V において最大出力となる。電気的出力は無歪 3.5W, 最大 6.5W, スピーカーは低中音用 20cm 型 “S-20LC.” 高音用 6cm 型 “S-6HA” の 2 個を使っている。再生周波数 60~20000 c/s (\pm 5 dB), 消費電力 50VA, 外形寸法は幅 550 \times 奥行 350 \times 高さ 560 (mm), 重量は 10.7kg 正価は ¥ 17,500.

(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)

三洋電機 K. K.

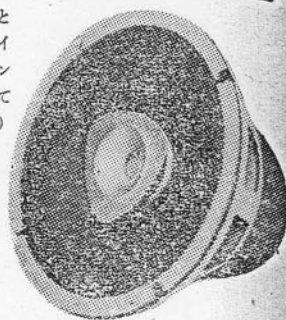
オンキョーの 20cm コアキシャル 2 ウエイ・スピーカー “8CX-A1”

本スピーカーの最も著しい特徴はトイーターの方向が変えられることで、部屋の隅においても指向性が最良の状態になるように設計

されていることである。トイーターにホーン型が採用されていることは 20cm クラスの同軸型スピーカーとしては初めての試みである。またネットワークも内蔵しているため接続も簡単である。最大許容入力 8W ット, VC インピーダンス 16 Ω , 周波数範囲は 40~16000c/s. 小売正価は ¥ 4130.

(大阪市旭区大宮西之町 5 の 32)

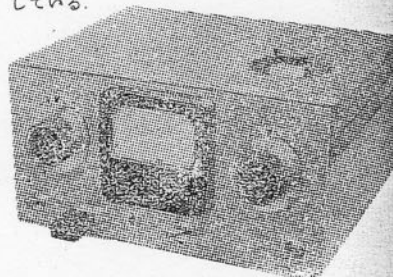
大阪音響 K. K.



東京電機工業の送信機キット

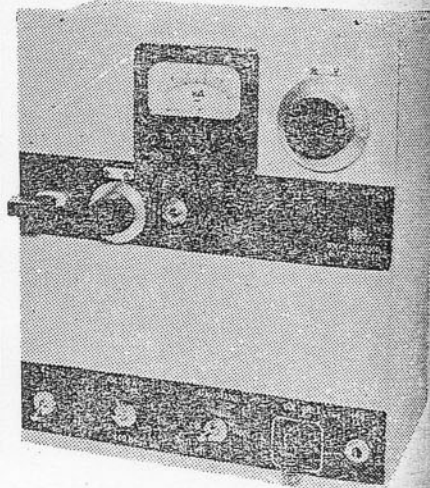
① 電信用送信機 “TNX-701A”

電信級のハムを対称として設計・製造されており、その配線は 5 球スーパーより簡単である。シャーシも十分な強度をもっており、電力を増したりする便利のため余裕あるスペースをとっている。周波数帯は 3.5 Mc の水晶で 3.5 Mc と 7Mc, 7Mc の水晶で 7Mc, 14Mc である。水晶発振器を 6CL6 に改造すれば 21, 28Mc も出せる。また出力コイルはボビンによるプラグインで、希望の 2 周波を出すことができる。電力は A₁ 入力 11W, 使用真空管は 6BD6 (水晶発振), 6CL6 (電力増幅), 6X4 (整流) である。外形寸法は横 240 \times 高さ 120 \times 奥行 150 (mm) 完成品は ¥ 12,500, キットは ¥ 11,500 (真空管つき)。水晶はついていないが、コイルは同社で TRL コイル各種を 1 本 ¥ 350 で出している。



② 電話用送信機 “TNX-7015”

RF 増幅部は前記 TNX-701A と同じものであるが、これにスクリーン・プレート同時変





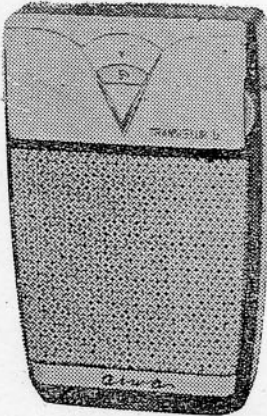
調方式の変調器がついている。変調器は 6AR5 の AB₁ 級を使用し、至少なく 100% 変調できるようにしてある。また変調トランスは特に特性を吟味してあり、リーケージ・インダクタンスを極めて小ならしめ、AB₁、AB₂ のアンプにおけるスイッチング・トランジェントを減小し良好な変調特性を得ることができる。なおキャリプレート SW もついでおり周波数のチェックも楽である。電波形式は A₁、A₃ で、出力は A₁ が 11W、A₃ が 8W である。使用真空管は 6BD6 (水晶発振)、6CL6 (電力増幅)、6BD6 (マイク・アンプ)、6AV6 (低周波増幅)、6AV7 (フェーズ・インバーター)、6AR5×2 (低周波増幅)、5R-K16 (整流) の 8 球である。外形寸法は横 260×高さ 300×奥行 150 (mm) である。値段は完成品が ¥ 23,800。キットが ¥ 21,500。

(東京都武蔵野市吉祥寺 3069)

東京電機工業

アイワの 6 石ラジオ “AR-650”

本格的なセラミック・バリコンを使用して、大きな音量においてもハウリングを起すようなことはない。内容は普通の 9 石スーパーで受信周波数帯は 535 ~ 1605kc、電気的出力は無至 70 mW、最大 150 mW、スピーカーは VC インビダダンス 8Ω の 2¹/₄ 型フェライト・アンテナ自蔵、電池は 006 P (9V) で、外形寸法は 107×68×30 (mm)、重量は電池ともで 227 gr. である。マグネチック・イヤホン 1 個が附属して、正価は ¥ 7,300 である。



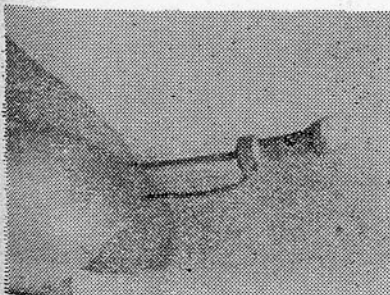
(東京都千代田区神田元佐久間町 4)

アイワ K.K.

JCR RD-1/10 PV 固定抵抗器

トランジスター・ラジオなどプリント配線用に作られた一方引出線の抵抗器である。価格は下表のとおりである。

価格 ¥	10Ω 以下	12 ~ 100	120 ~ 50k	50k 以上
J (± 5%)	24(18)	22(17)	18(14)	22(17)
K (± 10%)	15(9)	13(8)	11(6.5)	13(8)
M (± 20%)	14(8)	12(7)	10(6)	12(7)



(京都市伏見区深草染田屋敷町 65)

日本セラミック・レジスター K.K.

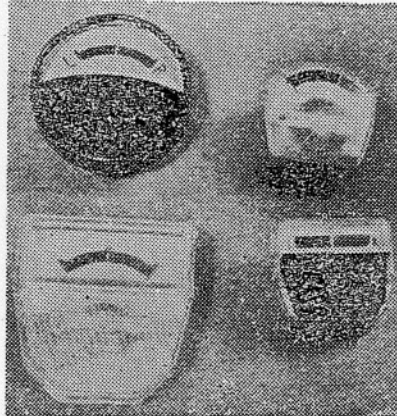
紀正電機のミニメーター

元来メーターといえば実用一点ばかりで、スタイルなど二のつぎとされていたため、ラジオ、アンプ、テレコなど各種音響機器にはマジックアイ等が指示用に使われてきた。しかし正確な指示ということになればやはりメーターが一番というわけで、時代の要求に応じて、いろいろと形やデザインの変った小型メーターとして発売されたのが、このミニメーターでテレコの録音感度指示、アンプの音量指示、ラジオの同調指示、ステレオ・アンプの左右レベルの調整などに使える。

型は写真にごらんのように S 型(写真の右上)、Y 型(右下)、M 型(左の列) などがある。S、Y 型の外形は 24×26 mm に奥行 18.5 mm、Y の丸型は直径 38 mm で奥行 19.5 mm である。定格電流および内部抵抗は下表のとおりである。

定格電流	内部抵抗
150 μA	700 Ω
300 μA	350 Ω
500 μA	200 Ω
1 mA	定格電流 500 μA のものに分流器 200 Ω を接続
10 mA	定格電流 500 μA のものに分流器 10 Ω を接続

値段は各型とも ¥ 300 程度



(東京都荒川区三河島 5 の 457)

紀正電機 K.K.

フジの 2 石 SP つき Tr ラジオ “T-26”



小型ラジオ専門の村山無線の出した、スピーカーつきの 2 石ラジオである。特殊回路によりアンテナ、アースなしでも結構なしめるとのこと。電池は 9V (006 P) を使っている。外形寸法は 104×65×28 (mm) である。本機

は完成品とキットとがあり、値段はロッド・アンテナ、イヤホン、ソフトケースの附属品がついて、完成品 ¥ 3,500、キット ¥ 3,300 である。

(横浜市神奈川区白幡町 118)

村山無線 K.K.

リンカーンの 8 石ホーム・ラジオ “KT-A3”

ホーム・ラジオとはいいながら 8 石の 2 バンド・トランジスター・ラジオで、外形も写真でごらんのようなハンディ型の新しいデザインになっている。アンテナはロッド・アンテナと 10×160 mm のバー・アンテナを使用し、BC バンドと SW バンドは各々独立したダイヤル機構を持っているため調整は楽になっている。

出力段は B 級 PP で 10 mW を得ており、9 cm 口径のスピーカーが使われている。

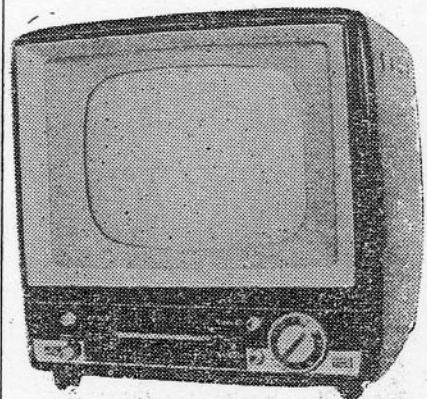


(東京都品川区西大崎 1 の 390)

リンカーン電機 K.K.

東映の TV キット “14200 H”

特長としては完全電源トランス方式で、複雑な調整部分が前面に集約されているので、画面を見ながら簡単に操作できることである。その他セルフクリーナーつきカスコード・チューナー使用、遠・近距離切換え用のアッテネーターつき自動切換式、リモコン装置の取付可能などである。また RF 部には高性能の 6R-HH2、6MHH3 などを用いていて、ワンタッチ式スイッチつき等新らしい技術をとり入れた完全キットである。正価は 29,500。



(東京都千代田区神田旅籠町 3 の 7)

東映無線 K.K.